



学校だより

令和6年11月29日(金)
第852号
さいたま市立日進小学校
TEL: 663-6942

音楽を通じた心豊かな教育の推進

校長 野上 正嗣

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、日暮れの早さとともに季節は寒い冬へと移り変わりました。早いもので、もう師走。今年のカレンダーも、最後の1枚分となりました。

11月16日の学校公開日は土曜日にもかかわらず、たくさんの保護者や地域の皆様に御来校いただき誠にありがとうございました。1学期の学校公開日から、一段と成長した学校でのお子様の様子を御覧になることができたことと思います。

2, 3時間目には、3年生が総合的な学習の時間「日進のすてき 大発見!」で日進地区の伝統的な文化であるお囃子の体験学習を行いました。25日の日進餅つき踊りの実演鑑賞や体験学習などを通して、地域への関心を高めたり地域に貢献されている保存会の方々の思いや願いを学んだりしています。保存会の皆様、どうもありがとうございました。

4時間目には、しいのき学級で埼玉大学教育学部附属特別支援学校の副校長の柳澤様を講師にお招きし、子育て講座を開催しました。中学校卒業以降の進学や進路、家庭での子どもへの接し方や自立への促し方などについてお話しいただき、とても有意義な時間となりました。今後も、学区内にあるお隣の学校として交流を重ねてまいります。

また、第2校舎では歴史ボランティアの方の協力で日進小の歴史について展示会を開催しました。たくさんの方に見学いただくことができましたこと、感謝申し上げます。

さて、6日(水)のさいたま市小・中合同音楽会では、4年3組が学校代表として参加し「友だちだから」を合唱しました。ソプラノとアルトの音量がバランスよく重なり、透明感のある歌声がホール中に響きわたり、心を合わせ、音を合わせて歌う姿に感動しました。

また今年度より、コロナ禍で控えていた体育館での音楽朝会をアップデートして再開しました。従来は15分間だったため教室から体育館の往復だけで時間がかかってしまい、活動時間を十分確保できなかったため、全校児童と一緒に歌う機会を増やせるよう活動計画を見直しました。年6回、火曜日の1時間目に3～6年生と吹奏楽部が今月の歌を発表したり音楽専科の教員の指導のもと全教職員が支援に回り全校児童で合唱したりすることで、音楽を通じて感じた楽しさや一体感が味わえるように工夫しました。子どもたちの表現力や集中力を音楽専科の教員が上手に引き出し、6月の初回に6年生が校歌を発表したのを皮切りに11月の「ふるさと」を吹奏楽部の演奏に合わせて取り組むなど、毎回子どもたちの歌声が体育館いっぱい響きわたっています。なお、音楽朝会后に実施する子どもたちの振り返りを集計すると「音楽が楽しい」という回答が9割近くになっています。

音楽には心をつなぐ力があります。そして音楽の力がもたらす感動や絆を体験し、心の豊かさや協力の大切さを学び、異なる年齢層の子どもたちが互いに尊重し合う環境も育まれています。今後も歌声溢れる学校として、心豊かな教育を推進してまいります。